（別紙３）

公表　児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人　津学童保育総合センター　スカイ2			
○保護者評価実施期間	令和７年　１０月　２０日		～	令和７年　１１月　４日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○従業者評価実施期間	令和７年　１１月　１４日		～	令和７年　１１月　１７日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和７年　１１月　２１日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・適切な支援の提供について、保護者様・従業者からも出来ているとの意見が多くあった。 ・支援プログラムをしっかり作成し、それに基づきながらお子様お一人お一人に沿った個別支援計画を作り、それに沿った必要な活動やプログラムを組んで実施出来ており、その点を保護者様もご理解頂けていた。	・まずは法令遵守であるが、それに基づいた支援プログラムを考え、公表している。そこに沿って事業所オリジナルの活動内容を踏まえた個々に応じた個別支援経過うを作成している。日々の活動内容は、その個別支援計画を元に組んでいる。その一連の流れの重要性を認識しており、継続した支援が行えていると思う。 ・上記の為には、お子様の様子を毎日のミーティング時等でしっかり話し合う必要があり、そミーティングは欠かさず行って情報共有や活動内容を組み立てている。	・職員一人ひとりのスキルを向上する事で、支援の質を高めていけるので、研修会に参加したり、参加した職員は共有・周知を図っていく。 ・お子様一人ひとりの状態・個性・特性の把握を深める。その際には課題ばかりに目を向けるのではなく、強み（ストレングス）中心に考え、良い面を伸ばしていきつつ出来る事等を増やしていけるようにしていく。。
2	・保護者様との連携がしっかり取れており、お子様について共通理解が出来ている事。 ・お子様の直接的な事だけでなく、おたよりや相談等での情報発信や迅速な対応にも評価を頂いた。	・毎回ご利用時に連絡帳でその日活動した事だけでなく、様子等の変化についてもしっかり記載するようにし、事業所でのお子様の様子を共有できるようにしている。 ・お悩みがあった際には、家庭支援のお声がけをさせて頂き、実施する中でお気持ちに寄り添い、有効な手立て等をお伝えしている。 ・保護者様からの相談や申し入れは重要な事・気付きであると考えており、迅速に対応するように心がけている。	・家庭支援についてお伝えのプリントを配布もさせて頂いているが、ご存じない方もみえるので、職員からお子様の様子に変化があった際にはお声がけをし、ご不安・お悩みの相談に積極的にのっていく。 ・相談事等には迅速に対応させて頂く事で、信頼や関係の構築にも繋がるので、今後も早急に対応をしていく。
3	・療育面だけでなく、非常時の対応や研修会等についてもしっかり行い、お子様の安全の確保や質の向上に努めている。	・安全計画・アレルギーの一覧表の掲示・各BCP等について、計画的に話し合いや研修、訓練を実施し、非常時に対して備えをしっかり行っている。 ・研修会では外部講師の方にもお越しいただく等し、職員の質の向上を図っている。	・しっかりと対策等を行っているが、保護者様への周知面で伝わり切れていない事が分かったので、ホームページに記載されている事等をお伝えしていく。 ・周知の方法について、SNS等も活用していくと良い。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・各関係機関との連携について、保護者様・従業員共に評価が低かった。（第三者評価・父母の会・地域との連携等）	・父母の会や地域との関りの面では、保護者様からも個人情報の観点からご希望が少なかったり心配される方もおみえの事より、積極的に推進出来ていない点。 ・第三者評価や自立支援協議会への参加の面で、連携の必要性は感じているものの、取り組みに対してなかなか予定が合わず、後回しになってしまっている事。	・保護者様に父母の会設立についてや地域との連携についてのアンケートを実施し、ご意見を頂戴して検討をする。 ・自立支援協議会等の会議の開催情報を把握し、予定が合えば積極的に参加していく。
2	・事業所内の環境設定等を把握されていない保護者の方がおみえであった。	・見学時には施設内の案内・確認をして頂いているが、その後の見学等が無い為だと思われる。 ・契約時等に諸々ご説明はさせて頂いているが、長く通所して見える方だと変更点があるか等が分からない為だと思われる。	・ご希望があれば見学もして頂けることをお伝えしていく。 ・活動時のスペースや配置職員数等、ホームページや契約時にご説明させて頂いている事をしっかりお伝えしたり、発信sることで周知して頂けるようにしていく。
3	・移行支援の面で、会議に参加する等しっかり行えているものの、そういった事を行っている事に対して職員の認識・理解が薄い。	・移行支援のための会議に情報提供を行っている事について、説明や会議録の回覧等行っているが、移行支援に対する仕組み等を理解しきれていない職員がいる。（特に新規職員）	・再度全体でご利用に関する流れや必要な事項について確認する機会を作る。特に新規職員は知らない事もあるので、研修会等を行い、知識を広げられるようにする。 ・移行支援自体では、事業所発信で会議を開催出来ないか等についても計画相談様に提案していく。（特に小学校から中学校、中学校から高校に上がる時等）